

タイミンタチバナ

[木本] 《嗜好》



森林内では高木になるものもある。



花柄は短い。



果実は黒く熟す。

区別のポイント

葉は革質で細長く全縁、表面は濃い緑色、裏面は淡緑色で主脈が隆起し側脈は見えない。

形態 常緑小高木。高さ 5 ～ 10m。

分布 本州（千葉県以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 大明（異国風の）橘。

葉 〈全体〉倒披針形～線状長楕円形で長さ 5 ～ 12 cm、幅 1 ～ 3 cm。

〈付き方〉互生。 〈葉柄〉2 ～ 13 mm。

〈基部〉くさび形。

〈葉先〉鈍頭。

〈縁〉全縁。

備考 9 では西部で、中から好きに。

出典 9, 14, 17, 19